

カリキュラム・ツリー＜令和7年度入学生＞

幼児教育学科 第3部 [令和7年度 第1学年]

【教育目的】

子どもに対する愛情と保育への使命感を持ち、豊かな人間性と知識、保育実践力を備えた幼児教育・保育の専門家として社会に貢献できる人材を育成する。

【教育目標】

子どもの健やかな育ちを支える幼児教育・保育に関する専門的知識、技術を身につけた保育者を養成する。

さらに、教育理念である正明和信の心を持ち、豊かな教養を身につけた保育者として社会に貢献できる人材を育成することを教育目標とする。

学習成果

基礎科目

建学の精神に基づいた女性を目指す
以下の能力を身につけた女性になることができる
・知識を身につけ、理解を深める能力
専門分野の基礎となる知識を身につけ、社会に対応し、地域に貢献していくための基本的な知識の理解
・思考力・判断力を身につけ、表現する能力
専門分野を学ぶための基礎となる思考力や判断力、表現力
・技能(能力)
専門分野を学ぶ基礎となる技能及び社会生活の基本となる技能と必要なコミュニケーション能力
・専門分野への関心を持ち、意欲的に学ぶ態度(能力)
基礎教育と専門分野を、社会的役割と結びつけてとらえ、関心と意欲を持って、主体的に取り組み学ぶ態度
・社会人の基礎となる力(能力)
社会で活躍するために求められる知識や教養の修得、及び社会で活躍できる女性として生きる力

1年前期

1年後期

2年前期

2年後期

3年前期

3年後期

日本国憲法

基礎数学

英会話 I

英会話 II

韓国語 I

海外研修

ICT教育演習 I

ICT教育演習 II

スポーツと健康 I

スポーツと健康 II

キャリアプラス(3年間)

キャリアチャレンジ I (通年)

キャリアチャレンジ II (通年)

キャリアチャレンジ III (通年)

専門科目

1年前期

1年後期

2年前期

2年後期

3年前期

3年後期

保育・幼児教育の基礎能力

保育・幼児教育の意義や社会福祉との関係、保育者の役割・職務内容等を学習することによって、保育・幼児教育の本質を理解することができる

保育原理

幼児教育原理

保育者論

教職・教育制度論

社会福祉

子ども家庭福祉

子ども家庭支援論

社会的養護 I

保育基礎ゼミナール

保育応用ゼミナール I

保育応用ゼミナール II

保育の心理学

教育心理学

子どもの理解と援助

子ども家庭支援の心理学

子どもの食と栄養

乳幼児食物アレルギー演習

子どもの健康と安全

子どもの保健

領域及び保育・幼児教育の内容と指導法に関する能力

乳幼児や障がい児を深く理解し、支援の仕方を学習する。さらに、保育・幼児教育の具体的な内容とその指導法について学ぶことによって、保育・幼児教育場面において指導に応用できる

乳児保育 I

子育て支援

子育て支援演習

乳児保育 II

障がい児保育

社会的養護 II

特別支援教育

幼児理解と教育方法

教育相談

保育の計画と評価

国語表現法

こどもICT

保育内容総論

領域「人間関係」

領域「環境」

領域「環境」の指導法

領域「健康」

領域「健康」の指導法

領域「言葉」

領域「言葉」の指導法

リズム表現指導法

音楽表現指導法

子ども音楽 I A

子ども音楽 I B

子ども音楽 II A

子ども音楽 II B

子ども音楽実践

造形表現指導法

領域「表現」

総合表現 I

総合表現 II

レクリエーション理論

レクリエーション実技

レクリエーション現場実習

こども音楽療育概論

こども音楽療育演習

こども音楽療育実習

保育実習 I (保育所)

保育実習 I (施設)

保育実習 II

保育実習指導 I A

保育実習指導 I B

保育実習指導 II

幼児教育実習 I

幼児教育実習 II

幼児教育実習事前事後指導

保育・教職実践演習(幼稚園)

短期海外保育研修

保育インターンシップ

カリキュラム・ツリー＜令和6年度入学生＞
幼児教育学科 第3部〔令和7年度 第2学年〕

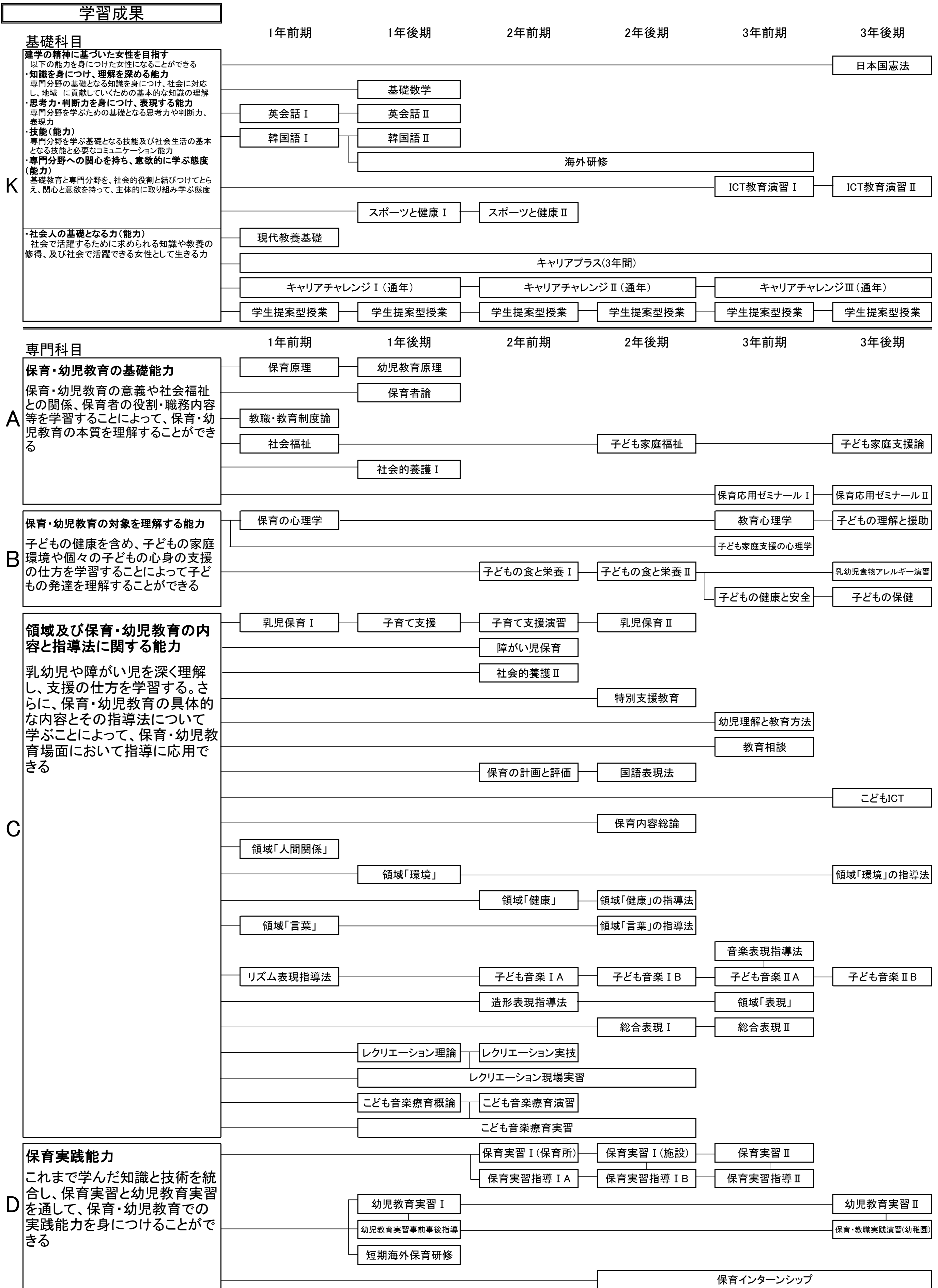
【教育目的】

子どもに対する愛情と保育への使命感を持ち、豊かな人間性と知識、保育実践力を備えた幼児教育・保育の専門家として社会に貢献できる人材を育成する。

【教育目標】

子どもの健やかな育ちを支える幼児教育・保育に関する専門的知識、技術を身につけた保育者を養成する。

さらに、教育理念である正明和信の心を持ち、豊かな教養を身につけた保育者として社会に貢献できる人材を育成することを教育目標とする。



カリキュラム・ツリー＜令和5年度入学生＞

幼児教育学科 第3部 [令和7年度 第3学年]

【教育目的】

子どもに対する愛情と保育への使命感を持ち、豊かな人間性と知識、保育実践力を備えた幼児教育・保育の専門家として社会に貢献できる人材を育成する。

【教育目標】

子どもの健やかな育ちを支える幼児教育・保育に関する専門的知識、技術を身につけた保育者を養成する。

さらに、教育理念である正明和信の心を持ち、豊かな教養を身につけた保育者として社会に貢献できる人材を育成することを教育目標とする。

学習成果

基礎科目

建学の精神に基づいた女性を目指す
以下の能力を身につけた女性になることができる
・知識を身につけ、理解を深める能力
専門分野の基礎となる知識を身につけ、社会に対応し、地域に貢献していくための基本的な知識の理解
・思考力・判断力を身につけ、表現する能力
専門分野を学ぶための基礎となる思考力や判断力、表現力
・技能(能力)
専門分野を学ぶ基礎となる技能及び社会生活の基本となる技能と必要なコミュニケーション能力
・専門分野への関心を持ち、意欲的に学ぶ態度(能力)
基礎教育と専門分野を、社会的役割と結びつけてとらえ、関心と意欲を持って、主体的に取り組む学ぶ態度

・社会人の基礎となる力(能力)
社会で活躍するために求められる知識や教養の修得、及び社会で活躍できる女性として生きる力

1年前期

1年後期

2年前期

2年後期

3年前期

3年後期

日本国憲法

基礎数学

英会話 I

英会話 II

韓国語 I

韓国語 II

海外研修

OA演習 I

OA演習 II

スポーツと健康 I

スポーツと健康 II

現代教養基礎

キャリアプラス(3年間)

キャリアチャレンジ I (通年)

キャリアチャレンジ II (通年)

キャリアチャレンジ III (通年)

学生提案型授業

学生提案型授業

学生提案型授業

学生提案型授業

専門科目

保育・幼児教育の基礎能力
保育・幼児教育の意義や社会福祉との関係、保育者の役割・職務内容等を学習することによって、保育・幼児教育の本質を理解することができる

保育・幼児教育の対象を理解する能力
子どもの健康を含め、子どもの家庭環境や個々の子どもの心身の支援の仕方を学習することによって子どもの発達を理解することができる

領域及び保育・幼児教育の内容と指導法に関する能力
乳幼児や障がい児を深く理解し、支援の仕方を学習する。さらに、保育・幼児教育の具体的な内容とその指導法について学ぶことによって、保育・幼児教育場面において指導に応用できる

保育実践能力
これまで学んだ知識と技術を統合し、保育実習と幼児教育実習を通して、保育・幼児教育での実践能力を身につけることができる

1年前期

1年後期

2年前期

2年後期

3年前期

3年後期

保育原理

幼児教育原理

保育者論

教職・教育制度論

社会福祉

子ども家庭福祉

子ども家庭支援論

社会的養護 I

保育の心理学

教育心理学

子どもの理解と援助

子ども家庭支援の心理学

子どもの食と栄養 I

子どもの食と栄養 II

乳幼児食物アレルギー演習

子どもの健康と安全

子どもの保健

乳児保育 I

乳児保育 II

子育て支援

障がい児保育

社会的養護 II

特別支援教育

教育相談

幼児理解と教育方法

国語表現法

保育の計画と評価

こどもICT

保育内容総論

領域「人間関係」

領域「環境」の指導法

領域「環境」

領域「健康」

領域「健康」の指導法

領域「言葉」

領域「言葉」の指導法

リズム表現指導法

子ども音楽 I A

子ども音楽 I B

音楽表現指導法

子ども音楽 II A

子ども音楽 II B

造形表現指導法

領域「表現」

こども音楽療育概論

こども音楽療育演習

こども音楽療育実習

保育実習 I (保育所)

保育実習 I (施設)

保育実習 II

保育実習指導 I A

保育実習指導 I B

保育実習指導 II

幼児教育実習 I

幼児教育実習 II

幼児教育実習事前事後指導

保育・教職実践演習(幼稚園)

短期海外保育研修

保育インターンシップ